

自治行政ガバナンスPG

本物の政策形成能力を身に付けませんか
国内トップレベルの政策研究者が丁寧に教えます

背景と目的

財源枯渇

デジタル化

人口減少

団塊ジュニアの高齢化

変わらない
調査手法

問題の本質をつく
科学的政策形成

プログラムで養われる能力

- ・欧米必須の**政策科学**に基づく問題発見力
- ・**EBPM**に基づく定量的分析力
- ・**政策法務**に基づく論理的思考力

(1)政策科学科目群

複数科目

- ・政策過程論研究(風間規男教授) → 問題の本質探究
- ・政策形成論研究(真山達志教授他)
- ・政策評価論研究(山谷清志教授) → どう評価できるか
- ・公共選択論研究(川浦昭彦教授)
- ・政策実施論研究(真山達志教授他) → 政策がなぜうまくいかない
- ・行政組織論研究(入江容子教授)
- ・地方自治論研究(野田遊教授) → 地域でどう展開
- ・生活保障論研究(畑本裕介教授)

アクターの動機

Institutional theory

評価手法 Path dependency theory

Systems theory

組織間関係

Agency theory

情報流通

市民ニーズ Dialectical theory

行動行政学

1科目以上

法的推論

立法過程分析

憲法解釈

法学的思考とは

効果的な立法

公共の福祉か

個人の自由か

・立法政策過程論研究(武蔵勝宏教授)

・憲法解釈研究(大島佳代子教授)

・現代行政法研究(小谷真理准教授)

1科目以上

(3)EBPM科目群

・公共財政管理論研究(田中宏樹教授)

・政策分析研究(川上敏和教授)

・地域分析論研究(野田遊教授)

エビデンス明確化

見える化

科学的
政策形成

3つの科目群

出口戦略

学部からの大学院進学

行政職員 議員
NPO職員 教職
民間シンクタンク研究員
大学研究者

社会人入学者

上位職昇進
大学研究者

[お問い合わせ先]
同志社大学大学院
総合政策科学研究科事務室
ji-sosei@mail.doshisha.ac.jp